

教祖140年祭 学生おぢばがえり大会



第620号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011(561)1148
FAX011(561)1190
E-mail:tenrikyohk@gmail.com
ホームページ
<https://tenrikyohk.com>

教祖140年祭 学生おぢばがえり大会 学生会



3月28日、「教祖140年祭 学生おぢばがえり大会」が親里で開催され、「みんなで勇んで、みんなで作る、優しさで笑顔あふれる大会を」のテーマのもと、全国各地の道につながる学生が帰り集った。

教区学生会(野村夏実委員長)は、学生相互の積極的な動員が活きて道内、おやさと管内をはじめ全国から北海道教区に縁のある学生46名が参加した。

また、学生別席団参とも銘を

打っており、初席者8名を含む、13名が別席を運んだ。

期間中はケガや病気もなく、天候にも恵まれ、おぢばの春を味わうことが出来た。



学生は春学団参という長い時間を共にすることで、同世代の

仲間とふれ合い、心を揺さぶられ、信仰や自分自身と向き合える時間を得たことと思います。

4月から、進学、進級、就職など、それぞれが違う道に歩み出す学生会の皆さんが春学の経験を活かして、それぞれのステージで『陽気ぐらしの天理教』を伝えることを願っております。



北海道教区のホームページ〈<https://tenrikyohk.com>〉で教区報がご覧頂けます

支部布教部長会議

布教部

布教部は、4月2日、午後1時より教務支庁で支部布教部長会議を開催。28名(内支部布教部長22名)に参加頂きました。

教祖140年祭を終えて、今後の動きが非常に重要であるとの思いから、真柱様のお言葉にある「三年間の努力の上に立った歩み」を大切にし、これからも一歩一歩、着実に進んでいこうという趣旨での開催となりました。

開会后、奥村教区長先生よりご挨拶を頂きました。ご自身の青年会時代を振り返りながら、北海道教区は布教に熱心であるという自負があった



支部布教部長会議



支部育成委員長会議

ものの、実際には全教一斉にいがけデーにおける教会長の参加率が低く、現実を突きつけられたと述べられました。その要因として、活動のマンネリ化や「おぢばの声」を真に受け止める意識の薄れを挙げられました。

さらに、真柱様の年頭挨拶を踏まえ、見えてきた課題を新たな出発の力とし、それぞれが信仰と信念を見つめ直すことの大切さを強調され、今後は教区全体でたすけあいながら、まずは全教一斉ひのきしんデーへの積極的な参加を呼びかけられ、大変励みとなるお話を頂きました。

続いて、教祖140祭における真柱様のお言葉、ならびに御招宴でのお言葉を拝聴しました。その後、布教部長より今年度

の取り組みについて説明があり、各支部の布教活動を教区ホームページの布教部カレンダーに掲載し、互いに励まし合える環境を作って、活動の見える化を図ることです。

例えば、「この日はこの地域にいる用木の方に声をかけてみよう」「他の支部も活動しているから自分たちも頑張ろう」といった前向きな動きにつながるものが期待されます。毎月の活動予定の投稿が呼びかけられました。

また、全教一斉ひのきしんデー担当者の公式「L」が開設されたこと。さらに今年の主な行事として「おふでさきを学ぶ」を開催することが発表されました。

北海道教区布教部主催
おふでさきを学ぶ
Zoom開催(月2回)
本部長 上田 嘉世 先生
テーマ
おふでさきから読み解くをの真意
～真意を悟れば、心はおぢばへ～
上田嘉世先生のおふでさき講習会のビデオ収録から学び、質疑応答やディスカッションを通して、教祖に親しみ、身近な生活におふでさきを語り、教えに基づき生きかへ

※おふでさきを学ぶの詳細は、公式ラインでお伝えします。



ループ討議を行いました。議題は以下の通りです。

- ・真柱様のお言葉を受けて感じたこと、今後の自分の動き
- ・これからの支部の取り組み
- ・全教一斉にいがけデーにおける教会長の参加率について

最後に、今年から実施する「おふでさきを学ぶ」についての詳細説明と、上田嘉世先生による講義のダイジェスト映像を鑑賞し、内容の理解を深めました。

閉講にあたり、山本副部長より挨拶があり、会議は終了しました。

(布教部長内田誠司)

支部育成委員長会議

少年会

少年会(大脇直丸団長)は、4月1日、教務支庁にて少年会支部育成委員長会議を開催し、16名(内リモート4名)が参加した。

教区長先生のご挨拶の後、今年度の少年ひのきしん隊、YYキャンプなど行事内容と連絡事項の確認をした。

また、こどもおぢばがえりには「教区隊」を結成して、ひとりでも多くの子供達がおぢばへ帰れるように具体的な取り組みを相談した。



支部育成委員長会議

秋頃には、教区少年会主催の「親子おとまり会」を実施できればと前向きに計画もしている。

会議後は、懇親会を開催。限られた時間ではあったが、それぞれの現状、これからの思いなどを語り合い楽しい時間を過ごした。

立教189年こどもおぢばがえり少年ひのきしん隊本部練成会
『北海道教区団募集日程』

- 日時 2026年7月28日～8月2日
- 29日 結隊式・本部合同隊入隊予定
- ※詳細は、5月2日配布予定

少年会北海道教区団主催

私の陽気ぐらし

—主事 笹谷浩史—



私は11年前に父の跡を継ぎ、教会長に就任しました。それまでは、29年間、関西に住んでおり自分で商売をしております。

私は気付きが遅く、本当に恥ずかしい限りですが、40歳を前にして、やっと跡を継がせて頂く気持ちになつてまいりました。

それは、子供の頃から教会長になりたくないと思つていて、大学を卒業してから親の言う事を聞かず、社会に出たからです。それから、社会で仕事を成功させるべく、一所懸命に頑張りました。先輩方から仕事を教えて頂き、セミナー等にも参加し学びました。その甲斐あってか、仕事の業績は伸び、収入も増えました。その反面、たくさん試練も頂き、とても辛い時期も経験しました。

その中で感じた事は、この世の中には、目に見えない力が働いていて、神様が居られるという事でした。そして気付いた事は、親が信仰して頂いていた事により積まれた徳のお陰で、自分が神様に守られ、ご守護を頂いていたという事です。

陽気な出来事が起こる。という事は、逆に考えましたら、自由に使える自分の心で、自分の楽しい陽気な未来を創る事が出来るんだ。と思ひました時に、凄く嬉しくなりました。

であり、使われる場所や用途は全く違いますが、一つのを作るといふ大きな目的は一緒である、というお話を聞かせて頂きました。

り、教祖殿でおさづけを取り次がせて頂く事になったり、信者さんで、何十年もおちばがえりをされていないという方も、何人か今年おちばがえりを一緒にさせて頂く事になりました。

しかしその反面、思いますのは、毎日色々な出来事が起こる中で、心の中で一喜一憂している自分があります。一番多いのは、不安の心かもしれません。

そのお話の中から私も思わせて頂きました事は、人にはそれぞれ個性というものがあり、それぞれに出来るおたすけも皆違つていてもいいんだ。と改めて思つた事です。皆それぞれに違つていても出来る事があり、私には私の出来るおたすけがあります。それをこれからも精一杯させて頂くと思つております。

この様な感じで、私に出来る事を楽しくさせて頂いているこの頃でございます。

私の中で、教会長になるという事は自分の人生を犠牲にして人の為に生きる事であり、楽しさがなくなる事だと、大きな思い違いをしていました。それまで、あまり向きあつていなかった、おふでさき、おさしづ、みかぐらうたを学ぶ程に御教えの素晴らしさに気付かせて頂きました。教えの中で一番好きな言葉は「陽気ぐらし」です。そして、「心通りの守護」です。

おさしづにあります、身の内かしのやかりものや心通る皆世界に映してある。世の処何遍も生まれ更わり出更わり心通り皆映してある。」つまり、人間は心の通りの姿を世に映し出して、自分の人生の現実を創つていくという事ですね。陽気な心でいると、自分の人生に創つていく為のおやさまの道具

今年教祖140年祭の年として、私は一人でも多くの方と一緒に、おさしづがえりをさせて頂くという目標を、自分の中に持ちました。私は関西に永く住んでおりましたので、土地勘もあり、観光地も知っている所が多いので、一日観光等も含め、私と一緒に、おちばがえりをさせていただきます。

先月、大教会の神殿講話で、先輩先生のお話の中に、論達に「ようばく一人ひとり教祖の道具衆としての自覚を高め」という一文のお話がありました。「道具」とは陽気ぐらし世界を創つていく為のおやさまの道具

私を勤めさせて頂いております。奥村先生の北海道の皆さまへの熱い想いを聴かせて頂き、荷が重いとは思いましたが、私に出来る事があれば何かさせて頂かなくてはと思ひました。私達は、おやさまの道具衆として、それぞれに皆出来る事を楽しくつとめさせて頂ける事が陽気ぐらしなのかなとも思ひます。

これからは、全道の教友が心を一つに集う「教区祭」を盛り上げ、北海道全体を盛り上げていこうという気運にあります。

私も皆様と共に楽しく「教区祭」を盛り上げ、日々の陽気ぐらしの信仰を深めさせて頂きたいと思ひます。何卒宜しくお願い申し上げます。

支部委員長・スタッフ会議

青年会

青年会(岡田荃貴委員長)は、4月2日、教務支庁にて支部委員長・スタッフ会議を開催した。14時より親神様・教祖・祖霊様遙拝、あらかじょうりよう指針を唱和。

冒頭の挨拶で委員長より、新たに青年会本部から発布された基本方針「心を澄ます毎日を。」について説明があり、教理を伝えていく立場としての心構えと、その重要性を参加者と共有した。

その後、各企画より連絡があり、企画担当者からは「布教・求道・伏せ込み」を軸とした活動と、今後の展望を見据えた説



明が行われた。

特に今年は青年会として注力している「ひのきしん隊教区入隊」が11月に控えており、声かけと参加の呼びかけが強調された。

後半は、支部委員長同士のねりあいが行われ、令和8年度の教区管内行事カレンダーを確認しつつ、支部行事の日程調整を行った。「教区入隊に支部団参を組んで参加したい」「教区と共催の形で行事を増やしていきたい」といった思いが支部委員長から寄せられた。

17時をもって会議は終了。その後、懇親会が行われ、委員長同士の交流を深めた。

最後に委員長より、「年祭を無事に迎えられる思いをもって、11月の教区入隊を目指して

まいります。今年度も活動の上にお力添えを賜りますよう、よろしく願い申し上げます」とのコメントが寄せられた。

参加者21名(リモート含む)

各地の動き

●渡島支部(尾留川雅道支部長)は、4月3日、立教189年4会合同おつとめ総会を江差分教会を会場に開催。参加者は、少年会員11名、学生会、青年会、しらゆき会、育成会員21名の総計31名で、すわりづとめ、てをどりをつとめさせていただいた。

おつとめ後は、少年会員より教祖にお誕生日のお祝いを申し上げた。

続いて教会周辺のゴミ拾いひのきしんを行い、その後、参加者全員で楽しく直会をして散会した。



ごみ拾い

北海道教務支庁日誌抄

4月1日	少年会育成委員長会議
2日	支部長会議
	支部布教部長会議
	支部青年会委員長会議
4日	札幌中南支部例会
	学生会例会
11日	学生会例会
13日	会計部会議
15日	しらゆき会例会
16日	教区長婦本
18日	教祖御誕生祭遥拝式
19日	学生会例会
23日	本部婦人会総会
25日	主事会
	教区長会議
	合唱団練習
	札幌4支部学生会
	新入生歓迎会
26日	本部月次祭遥拝式
28日	教区長婦本
29日	全教一斉ひのきしんデー
30日	たすけ推進会議
	しらゆき会例会

◆やまびこ会のご案内◆

布教を志す者の会として、にいがけ活動を中心に実動しています。どなたでもご参加いただけます。

今回は、5月16日13時30分、教務支庁集合

けいじばん

◎法律に関する諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。所属教会を通して教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭遥拝式を午前10時より行っています。

◎ホームページでは、教区報に未掲載の記事や投稿いただいた記事も随時掲載しています。また記事の投稿もよろしくお問い合わせ致します。

計報

立教一八九年・令和8年

- ・吉田榮吉様 3月31日出直 (86歳)
- ・上猿間分教会前会長 (北見支部)
- ・鈴木スミ様 4月9日出直 (99歳)
- ・多度志分教会前会長夫人(天龍支部)